

視 察 報 告 概 要

【神奈川県藤沢市】

1 視察日時 平成28年10月26日（水）
午前10時0分～午前11時30分

2 視察先及び視察事項

・視察先 住友商事株式会社（神奈川県藤沢市）

・視察事項 テラスモール湘南について

- ① 開発の経緯
- ② 概要
- ③ 効果
- ④ 今後の展望
- ⑤ 課題

3 視察の目的

住友商事株式会社が主体となって開発された、湘南地域最大級の大型ショッピングモールであるテラスモール湘南は、横浜市内や静岡県内からも集客して、開設以来、順調に集客と売り上げを伸ばしている。

所沢市においても、現在、所沢駅西口地区や所沢駅東口地区の商業ビル建設計画が検討されているが、商業開発の観点から、住友商事株式会社の先進的な取組みは大いに参考となるものであることから、調査・視察を行い、所沢市として今後どのような取組みをしていくか等を含め、委員会として今後の審査等の参考にするものである。

4 視察の概要

テラスモール湘南建物内の会議室において、住商アーバン開発株式会社営業部門統括役員付野地晋氏による挨拶、青木委員長の挨拶の後、テラスモール湘南の管内案内を経て、再び会議室に戻り、住友商事株式会社商業施設事業部事業推進チームリーダー羽鳥貴弘氏から視察事項の説明が行われた。その後、質疑応答が行われ、最後に島田副委員長のあいさつをもって終了となった。

I. 概要について

テラスモール湘南は、オープンしてちょうど5年間経った。店舗数で言うと、280店舗である。売り上げは当初400億円を見込んでいたが、初年度は509億円で

あった。今はだいたい540億円くらいで推移していて、ここからどうやって売り上げを上げていくかというところだと思う。場所としては、藤沢、茅ヶ崎、平塚という湘南エリアの中で、一番名前の知られていない辻堂という土地である。

区画整備事業についてだが、25ヘクタールの敷地に区画整備をして、6万平米のテラスモール湘南ができた。工事予算の売却の話私たちは手伝っていて、住友金属工業のグループの会社があり、街づくりの観点で藤沢市、UR都市機構と街づくりをしましょうという話になり、われわれはその街づくりに参画をさせていただいた。結果的には、ここは医療エリアにしましょう、産業エリアにしましょう、ここはやはり複合商業エリアにしましょう、ここをレジデンス、住宅ゾーンにしましょうというような協議をして、その過程の中でマンションを1つ建てさせていただいた。建物を建てれば、必ず壁ができるが、テラスモール湘南は開かれたイメージで建てられているので、容積率をあまり消化していない。少しゆったりとした建物を建てれば、売り上げが取れるかといえば、商業は必ずしもそうではなく、ここは4階建てが限界だろうということもあって、開かれたリンクエッジ空間になっている。

II. 効果について

まちに開かれた駅前広場だが、敷地の広さも大きく寄与しているので、このように段丘状に造ることができた。ここには広場のステージがあるが、地元の子どもたちが使い、子どもたちが喜ぶように、また、盆踊りなど、そのようなことをテラスモールではやっている。これがテラスのイメージを象徴しているが、見かけだけではなく、心地よい空間、居心地のよい空間としてのテラスというわれわれ独自の解釈をして、これを1つの開発の思想とした。これは、常に進化する次世代型の多核型モールということであるが、最近は大いば真似をされてきている。当時、テラスモールというものは意外と新しいものであったが、今後は、違う次世代のものを造っていかないといけないと思っている。何度でも来なくなるサードプレイスという言葉も、ほぼ普通に使われるようになった。因みに、来月仙台にオープンするものはセルバテラスという名前にした。去年、京都の方でリニューアルオープンしたところは、MOMOテラスという名前にした。ここは、必ずしもテラスがあるわけではないが、テラスという名前を使っているのは、こういうまちに開かれた「サードプレイス」、心地よい空間というものを造っていこうという思いから付けたものである。湘南ヴィレッジやモール空間の作りはチャレンジであったが、シンプルなもの非常にわかりやすい。自然光を取り入れたアトリウム空間なども作った。多核型モールは大きなテナントさんをたくさん両脇に入れていて、これをサーキット形状で繋げて、わかりやすい動線にしていく。あとはPRだが、電気自動車とか太陽光パネル等を使いながら行った。当施設は、かながわCASBEEでAランクをいただいた。

III. 今後の展望について

駐車場についても、デジタル表示など当時はあまりなく、今でもないと思うが、非常にわかりやすかったので、今後も充実していきたい。この辺は自慢話だが、売り上げは伸ばしているとか、ショッピングセンター協会であるSC大賞で金賞を受賞する

というのは、売り上げだけのものではない。良い賞として狙っていたがちゃんといただけで嬉しかった。

IV. 課題について

2007年、ちょうどテラスモール湘南を造る前に、駅があって、テラスモールがあって、ヴィレッジがあって、これが駅の反対側という、そんなリンクージュを意識して開発を行った。所沢市でも歩行者ネットワークという話があり、北側の話もあるが、人の流れ、車の流れ、歩く流れ、その辺りをこれから私たちが一緒になって考えていけないといけないと思う。また、オープン前とオープン後に色々地域関係者と商店会連合会との定例会を開催して、開発状況の共有を図ることも重要である。定例会においては多少議論になった時もあったが、それでもある程度、職員と話して受け入れるものは受け入れ、できないものはできないと言うことが必要である。テラスモール湘南においては、この周りの事業者、病院、オフィスビル、通信業者、交通事業者、JR、バス会社、藤沢市、警察で組織する湘南CX事業者協議会を、4半期、つまり3ヶ月に1回ぐらい、課題点を議論している。最初は、テラスモール湘南が原因で起きた渋滞のようなテーマで怒られることもあったが、今はだいぶ落ち着いてきている。このような協議を今後も行つて、情報共有を図っていきたい。また、私たちが商店街みたいなものなので、商店街の中で接客を高めていくとか、防災訓練を地元の自治会さんや行政さんとタイアップしながら主導でやっている。地域メイドの開発、この街をまた来たくなる空間に、このセットが私たちの一番のキーワード、コンセプトとして、皆さんにお伝えしている。

◎質疑応答

質疑 どれぐらいの範囲で、3分の2ぐらいとか、どれぐらい来ているかという何となくの予想はあるか。以前デパートで聞いたときに5キロで3分の2ぐらいと聞いたが。

応答 3分の2かどうかというところと言うと、私たちの基礎商圈というのは、5キロから7キロを基礎商圈としています。7割、7割5分はあると思う。25パーセントは、遠くから来て頂いているお客さんもいます。西に行くよりは横浜の方が近いし有効性も高いので、この辺は難しいだろうと思っていたが、意外と来ていただいています。例えば、今までは鎌倉とか、映画を観に行くのに横浜まで行っていたが、結構辻堂界限にも来られています。辻堂は行った後動きやすい、楽だという話だと思います。

質疑 容積率はどれくらいか。

応答 400パーセントぐらいで、220パーセントぐらい消化しました。

質疑 多核型モールとはどういう意味か。

応答 フロアの両脇に、百貨店や大型スーパーなどではなく、大きめの専門店を構え

ることです。

質疑 因みに商店会連合会は、ここが開業してから何か言ってくるか。

応答 特にはありません。売り上げはそれほど落ちてはいないようで、飲食店はふえています。テラスモール湘南では、1,000人以上が働いていますが、終業後にスタッフが立ち寄るのは駅の南口になります。

質疑 人口はふえているのか。

応答 ふえています。資産価値が上がっているので、逆にお叱りを受ける時もあります。この道路の向こうが茅ヶ崎市になるので、市境にあたる藤沢市のほうが、地価が上がり、ふえています。

質疑 所沢のテラスについては、今、イメージとか話し合われているのか。

応答 土地でいくと、西武の土地なので、われわれが土地の規模に対して云々することはできませんが、おそらく3万3,000から4,000平米ほどだと思います。ここが6万平米なので、外部空間をここまで住宅に取れないので、中にどういう空間を作っていくか、また、南西に所沢市の公園ができるので、これを分断されないよう取り込むために、環境をどう整備していくかということ課題としてあげられます。しかし、市からも見せてほしいと言われますが、計画そのものは、まだ一切イメージビジュアルすらついていません。

質疑 所沢市は航空発祥の地となっているが、そういうようなものはまだ全然ないか。

応答 当然、所沢市の歴史も勉強しています。去年、委員会の付帯決議で公共貢献を求めると、そういう協定を結べという話を聞いていますが、逆に街づくりとか商業化とか公共貢献の、所沢市が求めるメインは何かということに、あまり時間をかけずに議論を戦わせるべきだと思います。地域貢献は大事だと思いますが、まとまらないであれもこれもとなると公共施設になってしまいます。市が言われたのは公共貢献で、私たちが言うのは地域貢献です。

質疑 所沢の商圈をどのように見ているか。つまり1人あたりの所得とか、階層とか。ここよりも所得とか有価証券保有率が高いと思う。所沢の商圈はお金があるのに使わない人が多い。三菱が複合店舗を駅前につくったが、うまくいかない。

応答 お金持ちほど財布は意外と固く、ブランド・イメージの高いところで買うというプライドもあります。そのような人たちに、どうやって足を運んで頂くかということを考えるのが、私たちの醍醐味です。消費は、マーケットではハレとケです。この施設を作った時に、フードコートなどはケが大事で、ハレよりも小ハレでいくことにしました。ライフタウン辺りにお住まいのシニアの方が歩きながら噴水に来て、ここは気取って来ても良いところであるという言葉聞いて、やった甲斐があったと思いました。所沢も多分同じだと思います。土曜日、日曜日に、池袋で所沢ナンバーの高級車をよく見かけます。これは習慣づ

いてない、見事に流出していると思いました。池袋や渋谷に行ってしまうと良いと思っている方を、どうやってもう一回、滞留していただけるかということです。しかし、池袋のエリアにお任せする部分はお任せしようと思っています。池袋で買うものであれば、池袋に行ってもらいます。

質疑 ワルツ所沢に今後望まれるものはあるか。

応答 ワルツ所沢なのか、セブンアンドアイなのかはわかりませんが、望まれるものはあると思います。今回リニューアルをかけていて、今地下1階と1階の食品を強化しようと入れ替えをされています。かつて200億円売っていて、今は下がって180から190億円となっていて、実売する観点では150から160億円ぐらいかと思います。百貨店の機能というのは、なかなかショッピングセンターでは作れない世界でもあるので、がんばって欲しいとは思っています。潰そうとか、そういう気はありません。

質疑 この前浦和に行ったが、浦和のアトレみたいに、サービス関係のジムとか別の形のサービスを転換してもらったらお互い良いとか、そういうことはあるか。

応答 高い階層があるビルなので、上が厳しいと思います。上の使い方というのは、別の使い方をすることもあります。ホールなどもあります。使われているような感じもないので、どうしていくかというのは言えませんが、私たちを敵対視している感じは見受けられないので、これから情報共有しながら役割分担を議論していきたいと思っています。フルMD、フル商品で展開することは絶対できないので、分担をどうしていくかという議論になると思います。

5 所感

辻堂駅前が開発されたテラスモール湘南は、駅の1階や2階から広い動線が確保されており、駅を利用した来客者をスムーズに誘導できる作りとなっている。メインとなる2階入口のホールは、高さや広さを十分に備えてゆったり感を演出しており、また、適度な広さを持つ広場は、各種イベントの開催が可能である。このような作りは、「また来なくなる」、「何度でも来なくなる」というコンセプトに沿ったものであると実感した。このようなコンセプトは、市外の買い物客を所沢市に多く呼び寄せるためにも、市外に流出している買い物客を呼び戻すためにも、必要な視点であると感じた。

なお、辻堂駅構内の連絡通路は、歩行者のみならず自転車通行者も、自転車を降りてのものとなるが、自在に行き来できる広さとなっており、このことも参考になった。

今後は、今回の視察で得た経験や視点を活かし、所沢駅周辺の商業振興政策のあり方についても含め、委員会審査の充実を図ってまいりたい。

【愛知県豊田市】

1 視察日時 平成28年10月27日(木)
午前10時0分～午前11時30分

2 視察先及び視察事項

・視察先 愛知県豊田市(愛知県豊田市西町3丁目60番地)

・視察事項 大学構内における期日前投票所の設置について

- ① 経緯
- ② 概要、予算
- ③ 現在、今後の主な取り組み
- ④ 期待される効果、市民の反応
- ⑤ 今後の展望
- ⑥ 課題

3 視察の目的

平成27年4月12日に執行された埼玉県議会議員一般選挙の投票率は、37.67%（前回比3.59ポイント減）、同年4月26日に執行された所沢市議会議員一般選挙の投票率は、39.76%（前回比1.42ポイント減）と、いずれも決して高いとは言えない投票率である。埼玉県における選挙の投票率は、他都道府県と比べて低い傾向が顕著であり、投票率の向上対策は所沢市にとっても喫緊の課題となっている。

平成28年6月19日施行の改正公職選挙法により、18歳選挙権が適用となったが、豊田市選挙管理委員会においては、法の施行に先立ち、若年層の政治への関心を高め、投票率の向上や選挙権年齢引き下げへの啓発を目的に、平成28年2月7日執行の豊田市長選挙において、大学構内に期日前投票所を設置された。

所沢市においても、市内4つの学校と「官学連携に関する基本協定」を締結しており、このような先進的な取り組みは大いに参考となるものであることから、豊田市の取組状況について調査・視察を行い、所沢市として今後どのような取組みをしていくか等を含め、委員会として今後の審査等の参考にするものである。

4 視察の概要

豊田市役所において、三江議会運営委員長の挨拶、青木委員長の挨拶の後、梅村選挙管理委員会事務局書記長から視察事項の説明が行われた。

【概要】

豊田市は、愛知県で名古屋市に次ぐ人口約42万人の中核市であり、平成の合併により6町村を編入し、市域は県全体の17.8%を占める広大な面積を持つ、都市部と中山間地域が共存するまちとなっている。選挙管理委員会としても、若年層の政治参加や投票率向上が常に課題であり、様々な啓発や投票環境の向上を効果的に進めていかなくてはならないと認識している。

1. 投票率の現状

豊田市は、愛知県全体と比較しても投票率が高く、いわゆる町村並みの投票率となっており、常に県内市で1位の投票率を維持している。市内を比較すると、郡部の投票所では投票率が80%を超え、都市部では特に自動車関連の寮や社宅に近い投票所で期日前投票率が50%を超えるなど、興味深い結果となっている。このように、選挙が終わるたびに分析をしながら課題を見つけるように尽力しており、分析用として結果報告書の冊子を毎回作成している。

期日前投票者数は毎回93,000人を超え、割合は27.61%を占めている。分析の結果、いわゆる労働組合等の組織票であることが明確となった。労働組合が投票済証の提出を求めており、結果的に投票率の向上の一翼を担っている。投票に行くように、という意味での干渉ということで選管は認識しているが、一部の市民からは投票済証を発行するから動員がかかるのだ、という声もある。

2. 投票環境の整備の状況

(1) 期日前投票所

12カ所の期日前投票所において、全期間午前8時30分から午後8時まで開設している。

平成28年2月の豊田市長選挙から、12カ所に加えて中京大学に2日間、午前10時から午後5時まで開設した。大学構内への設置が東海3県で初ということもあり、報道や近隣市の選管からも取材や視察が多くあったが、2日間で128人が投票したのみだった。2月ということで、大学の講義がなかったことや、住民票を地元においたままの学生が多かったことが原因ではないかと分析している。今後については、投票環境の向上の面から、継続すべきという結論に達している。

平成28年7月の参議院議員選挙からは、中京大学に加えて愛知学泉大学にも設置を拡大した。平日3日間の午前10時から午後5時まで開設し、この時から他市町村の不在者投票も受け付けるように変更して実施した。大学構内への開設については、投票状況からは期待どおりとはいかなかったものの、メディアにもとりあげられたことによる今後への期待と、大学の周辺に他の期日前投票所がないことから、引き続き開設する予定である。

また、駅前の商業施設に、平日の3日間は午前10時から午後10時まで、土曜日は午前10時から午後7時までの計4日間、期日前投票所を設置した。投票時間の延長については県内唯一の試みだった。こちらの期日前投票所では、4日間で1,721人が投票し、午後8時以降については142人の投票があった。こちらも継

続を予定している。

(2) 当日投票所

市内128カ所に投票所を設置した。

3. 大学構内設置の経緯

平成25年3月 豊田市と市内5大学とで包括連携協定を締結。

平成27年度 中京大学からの若者への選挙啓発についての打診をきっかけに、市内5大学に対し、構内への期日前投票所の設置を打診したところ、中京大学、愛知学泉大学が快諾。

平成28年2月 豊田市長選挙において、中京大学に期日前投票所を設置。初めての試みのため、日程を決定することができる市長選挙で実施した。

(愛知学泉大学は大学入試期間と重なったため、設置を辞退。)

平成28年7月 参議院議員選挙において、愛知学泉大学、中京大学に期日前投票所を設置。

4. 設置概要

二重投票防止策として、期日前投票所間をオンラインで結ぶ必要がある。市役所から大学事務棟の回線までは仮想専用ネットワークを採用し、専用線に対して費用と期間を抑えている。大学事務棟から会議室までは、大学の既設の電話線を使用した。他の期日前投票所に関しては、専用線が既設されている。

会場の借上げに際しては、大学の厚意により無料で使用できた。

投票管理者及び投票立会人は原則として学生を選任。不在者投票の制度や請求方法を構内でPRし、大学構内で不在者投票ができることで棄権防止を図ったが、制度が複雑でなかなか浸透しなかったが、ゼロではなかったことが成果と捉えている。

5. 経費

報酬を除く経費として1カ所の新設につき約30万円の備品購入費と約40万円の通信運搬費がかかるが、専用回線を設置することに比べると金額ははるかに低く、費用対効果で分析すると結果としてさほど負担になっていないと判断している。

6. 期待される効果、市民の反応

効果として、学生の投票機会の向上や、不在者投票制度の周知、棄権防止が挙げられる。また、市西部地区に期日前投票所がなかったことから、地域要望による周辺住民の投票機会の向上も併せて実現できた。

現時点において、市民や議会からは経費の無駄遣いであるといった指摘は寄せられていない。一部報道機関からは、投票者数のみを掲げてこれは成功か失敗か尋ねられたこともあるが、投票機会の向上と棄権防止の取組みとして説明することによ

り、ご理解いただいた。

7. 選挙啓発の取組

(1) 選挙出前トーク

平成17年度から県の事業としてスタートし、平成24年度からは小学校への実施が市へ移管された。平成27年度に、中京大学の学生による企画・実施へと移行し、小学校12校、高校1校で実施した。この時にお世話になった中京大学総合政策学部の市島准教授が愛知県の明るい選挙推進愛知県協議会委員であったことから、この大学連携によって選挙出前トークの企画から実施までお世話になることとなった。このことが最終的に期日前投票所の構内開設に結びついたものである。

学生による選挙出前トークについては、学生を3チームから4チームに編成し、選挙出前トークの企画案をそれぞれ発表し、選挙管理委員会委員や職員、教授が質疑応答や意見交換をして改良を重ねていく。各チームの企画案を学校に提示し、学校の先生に1つ選んでいただいて採用された企画のチームが選挙出前トークを実施し、それ以外のチームはサポートに回る。年度末に報告会と反省会を行って、来年度に向けて企画案を作成し、次年度につなげている。また、小学生については、選挙出前トークが終わってから家庭に帰って家族と話した内容や、感想を聞くために保護者にもアンケートをとっており、これが次の参考になったり、保護者の棄権防止にもつながっていると認識している。

(2) 選挙権年齢引き下げにおける取組

今回の参議院議員選挙において初めて選挙権を取得した18歳から20歳の有権者に、啓発ハガキを郵送した。宛名の下には、本人が市外で生活している家族に対し、不在者投票の案内をしていただくよう記載した。また、市内の大学、高専、高校へ啓発ポスターの掲示と学生・生徒へのチラシ配布を依頼した。ハガキ、ポスター、チラシには、啓発動画や各機関の選挙啓発ホームページ等へリンクする二次元バーコードを載せて、若年者層が選挙に親しみを持てるように工夫した。

いろいろな啓発活動を行ってはいたものの、結果的に学生の投票者数が意外に伸びなかったのも、もっと積極的に大学構内での啓発イベントを企画すればよかったかと反省している。

今回、18歳から24歳までの投票率算定において、各投票所の選挙人名簿のスタンプを数えたところ、学生寮があるところの投票率がとても低いことに気付いた。豊田市で投票できる学生が投票していない。反対に、会社の寮がある所は全て投票済だった。やはり、大学生の選挙に関する意識・関心が極端に落ちている。今後は、市内の投票資格がある大学生に対し、投票に来てもらえるような啓発活動に目を向けなければいけないと感じている。

8. 課題と今後の方針

会場確保の問題、投票日当日の共通投票所の検討等の課題があるが、若年層（学生）を中心とした啓発、主権者教育、中学校を含めた選挙出前トークの実施などに

については、教育委員会や教育現場との連携強化が重要だと認識している。

昨今、総務省や国会でも不在者投票制度の簡素化についての公職選挙法改正作業も進んでおり、課題の一つと認識している。行政実例で出たように、親元を離れた大学生を地元の選挙管理委員会が名簿から抹消するということが九州地方で進んでいるが、公職選挙法では選挙人名簿を登録するときに所在確認をすることが定められており、例えば、親元を離れて遠方の寮などに入った場合、その間住民票が残っていても、調査し、その大学生を名簿から抹消する。それに基づいて九州地方は行っているが、18歳選挙権になって問題になったのが、不在者投票を請求したが、選挙人名簿に載っていないと断られたというケースである。この部分の制度の矛盾も今後の公職選挙法の改正を期待している。

◎質疑応答

質疑 権限委譲に伴う啓発のための予算、人員はどうなっていたか。

応答 4月から職員を1名増員して啓発担当をふやし、啓発に関する業務を行っています。予算については、限られた予算をやり繰りして執行しています。

質疑 不在者投票について、所在確認をすることになっているが、住民基本台帳法では転出入のときは住民票異動が義務となっている。豊田市から他市へ異動した場合、選挙人名簿から削除することが正しいと思うが、事務作業として大変なことか。また、九州ではどのようにやっているのか

応答 選挙人名簿は永久選挙人名簿と言われており、一旦登録したら形跡が残るため、最初に登録するときに調査権があります。例えば、新成人に対し、居住しているかどうかを確認するのが本来のやり方です。ご質疑のように、本来住民票の異動は住基法の定めであり、公選法は調査権があるということで、問題になっているのは、行政実例でも削除するようになっていますが、進学等で住民票を動かしてしまうと地元の成人式に出席できないということが潜在的にあります。調査の結果で選挙人名簿から削除するのは簡単ですが、住民票は異動していないため、居住地でも投票資格がありません。そうすると、選挙権があっても投票資格を奪ってしまうことになります。

質疑 選挙人名簿から削除された場合の不服申し立てはどのようにするのか。

応答 定時登録後の縦覧期間、選挙時は告示日に申し出ることになります。

質疑 選挙によって投票率に差があるが、労組の動向が影響しているのか。

応答 そのとおりです。また、市議会議員選挙の投票率が上がるのは、地元から盛り上がるということです。

質疑 期日前投票に関し、宣誓書の記入は当日なのか、整理券の裏に記入するのか。

応答 豊田市では投票所入場券の裏面が宣誓書になっています。また、投票所にはA4版の宣誓書も用意しています。今後、宛名をもって宣誓書とすることができるよう、県選管と協議していきたいと思います。

質疑 共通投票所設置の検討に際し、二重投票防止対策方法が電話確認というのはトラブルの懸念はないのか。

応答 128カ所の投票所を全てオンラインで結ぶ必要性を考えましたが、費用対効果から、全部の投票所を本当に結ぶ必要があるのかを考えました。例えば、共通投票所にある期日前投票で使ったオンラインシステムで、どこの投票所の選挙人かを確認して当該投票所へ電話をかけ、投票済かどうかを確認することは、可能ではないかと考えています。現実的に128カ所をオンラインで結ぶことは不可能なので、別の方法を検討しなければなりません。

質疑 中京大学ということで、PRについて浅田真央選手に打診したりしたか。

応答 していません。

質疑 期日前投票所を12カ所設置するに当たり、経費はどれぐらいかかるか。

応答 全て公共施設であり、既に専用線があるため、管理者と立会人の報償費のみです。投票用紙の交付なども市職員が行います。

質疑 投票用紙は、交付機を使用するのか、それとも手渡しなのか。

応答 1,000人以上の投票所は交付機を使用しますが、郡部は手渡しです。期日前投票においては、宣誓書とコンピュータの投票済者、投票用紙の使用枚数を毎日確認しています。

質疑 何か苦勞したことはあったか。

応答 商業施設における期日前投票所増設は、当初選管では想定しておらず、2カ月前に決まったので、場所の確保に一番苦勞しました。

質疑 商業施設での投票者数は、想定と比較して多かったか、少なかったか。

応答 9階に設置したことも影響したのか、想定よりは少なかったです。

質疑 主権者教育についての教育委員会との連携について、具体策を考えているか。

応答 現在は小中学校での選挙出前トークを実施しているが、18歳になるまでに3年もあります。市教育委員会の関与は小・中学校だが、高校まで広げていただきたいと考えています。

所感

豊田市は、期日前投票所を市内に12カ所、また、平成28年2月の豊田市長選挙から

中京大学に2日間、平成28年7月の参議院議員選挙からは、中京大学に加えて愛知学泉大学にも開設を拡大して、投票率向上に努めている先進市である。

大学構内の期日前投票所の投票状況については、市長選挙、参議院議員選挙共に、期待するような結果は得られなかったとのことである。その背景としては、2月にせよ、7月にせよ、学生が学内にいないであろう時期であったことが考えられる。また、住民票を動かしてしまうと地元の成人式に出席できないため、住民票を地元においたままの学生が多いことが、理由として挙げられていた。そのような学生を選挙人名簿から削除すると、住民票は異動していないため、居住地でも投票資格がなく、選挙権があっても投票資格を奪ってしまうことにもなる。

このような状況は、所沢市においても同様であると考えられる。今後は、このような状況をどのように解決していくべきかということ等も含め、委員会審査の充実を図ってまいりたい。